

教育学部ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実にそなえ、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成している。したがって、本学部の各コース・専攻ではそれぞれ下の表に示すような能力を、卒業要件としている。

ディプロマ・ポリシー				
大項目	大項目の説明	中項目	中項目の説明	
人間性・社会性・国際性	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。	使命感・倫理観	教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。	
		チームワーク	将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。	
		個と多様性の尊重	個と多様性を尊重し、教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒等に接することができる。	
主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	
コミュニケーション能力	相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。	言語リテラシー	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	
		児童・生徒理解	学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒等の実態を把握することができる。	
		生徒指導・学級経営	児童・生徒等の実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。	
課題発見・解決力	課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。	情報リテラシー	情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。	
		課題解決力	課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。	
		総合的な教育実践力	自他の教育実践を省察することで、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。	
知識・技能	学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。	文化・社会・自然・地域の理解	人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。	
		専門知識・理解・技能	教育の基礎理論に関する知識	学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
			教科等の内容に関する知識・技能	各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
		教科等の指導法に関する知識・実践力	教育課程や指導法に関する知識及び技能を児童・生徒等の実態に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。	

小中一貫教育コース

		ディプロマ・ポリシー		
大項目	大項目の説明	中項目	中項目の説明	
人間性・社会性・国際性	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。	使命感・倫理観	小学校・中学校・小中一貫校の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。	
		チームワーク	将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。	
		個と多様性の尊重	個と多様性を尊重し、小学校・中学校・小中一貫校の教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。	
主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	
コミュニケーション能力	相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。	言語リテラシー	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	
		児童・生徒理解	学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。	
		生徒指導・学級経営	児童・生徒の実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。	
課題発見・解決力	課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。	情報リテラシー	情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。	
		課題解決力	課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。	
		総合的な教育実践力	自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。	
知識・技能	学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。	文化・社会・自然・地域の理解	人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。	
		専門知識・理解・技能	教育の基礎理論に関する知識	学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
			教科等の内容に関する知識・技能	各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
		教科等の指導法に関する知識・実践力	小学校・中学校・小中一貫校の教育課程や指導法に関する知識及び技能を児童生徒の実態に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。	

教職実践基礎コース

		ディプロマ・ポリシー		
大項目	大項目の説明	中項目	中項目の説明	
人間性・社会性・国際性	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。	使命感・倫理観	学校教育制度の社会的役割を理解し、学校教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できるとともに、社会の一員として適切に行動できる。	
		チームワーク	将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。	
		個と多様性の尊重	個と多様性を尊重し、学校教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。	
主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	
コミュニケーション能力	相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。	言語リテラシー	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	
		児童・生徒理解	学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。	
		生徒指導・学級経営	教育方法及び学習理論、学校・学級経営等に関する専門的知識・技能に基づき、生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。	
課題発見・解決力	課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。	情報リテラシー	情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。	
		課題解決力	課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。	
		総合的な教育実践力	授業実践の基礎となる教育方法、学習方法、教育課程編成の原理や歴史的遺産を踏まえて自他の教育実践を省察し、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。	
知識・技能	学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。	文化・社会・自然・地域の理解	人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。	
		専門知識・理解・技能	教育の基礎理論に関する知識	学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校教育の成り立ちや現代の学校が直面しているさまざまな教育課題を明確に理解し、適切な対応を考えることができる。
			教科等の内容に関する知識・技能	各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
		教科等の指導法に関する知識・実践力	教育課程・学習開発、指導法に関する知識及び技能を、一人一人の幼児・児童・生徒の成長や個性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。	

発達支援教育コース 子ども理解専攻

ディプロマ・ポリシー

大項目	大項目の説明	中項目	中項目の説明	
人間性・社会性・国際性	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。	使命感・倫理観	小学校、幼稚園・認定子ども園の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。	
		チームワーク	将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。	
		個と多様性の尊重	個と多様性を尊重し、小学校、幼稚園・認定子ども園の教員に必要な教育的愛情を持って幼児・児童に接することができる。	
主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	
コミュニケーション能力	相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。	言語リテラシー	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	
		児童・生徒理解	学校教育の基礎的諸理論に基づき、心理・行動的問題を示す幼児・児童とのコミュニケーションを図り、幼児・児童の実態を理解することができる。	
		生徒指導・学級経営	幼児・児童のメンタルヘルスの状態に配慮して、問題の予防・対処に必要な生徒指導、教育相談及び学級経営に取り組むことができる。	
課題発見・解決力	課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。	情報リテラシー	情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。	
		課題解決力	課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。	
		総合的な教育実践力	自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。	
知識・技能	学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。	文化・社会・自然・地域の理解	人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。	
		専門知識・理解・技能	教育の基礎理論に関する知識	学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
			教科等の内容に関する知識・技能	小学校の各教科等の内容及び幼稚園・認定子ども園の保育内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
		教科等の指導法に関する知識・実践力	幼児児童の成長やメンタルヘルスの状態に配慮しながら、小学校・幼稚園・認定子ども園の教育課程や指導法に関する知識及び技能を授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。	

発達支援教育コース 特別支援教育専攻

ディプロマ・ポリシー				
大項目	大項目の説明	中項目	中項目の説明	
人間性・社会性・国際性	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。	使命感・倫理観	特別支援教育に携わる教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。	
		チームワーク	将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。	
		個と多様性の尊重	個と多様性を尊重し、特別支援教育に携わる教員に必要な教育的愛情を持って子どもに接することができる。	
主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	主体的に学ぶ力	自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。	
コミュニケーション能力	相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。	言語リテラシー	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	
		児童・生徒理解	知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の障害特性を理解し、特別な教育的支援を必要とする子どもの実態を把握することができる。	
		生徒指導・学級経営	特別な教育的支援を必要とする子どもの実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。	
課題発見・解決力	課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。	情報リテラシー	情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。	
		課題解決力	課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。	
		総合的な教育実践力	特別支援学校や小学校における自他の教育実践を省察することで、自己の学習課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。	
知識・技能	学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。	文化・社会・自然・地域の理解	人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。	
		専門知識・理解・技能	教育の基礎理論に関する知識	学校教育及び特別支援教育の基礎的諸理論に基づき、知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の子どもが抱えているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
			教科等の内容に関する知識・技能	各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
		教科等の指導法に関する知識・実践力	特別支援学校の教育課程や知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等に対する指導法に関する知識及び技能を一人ひとりの子どもの発達や障害特性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。	